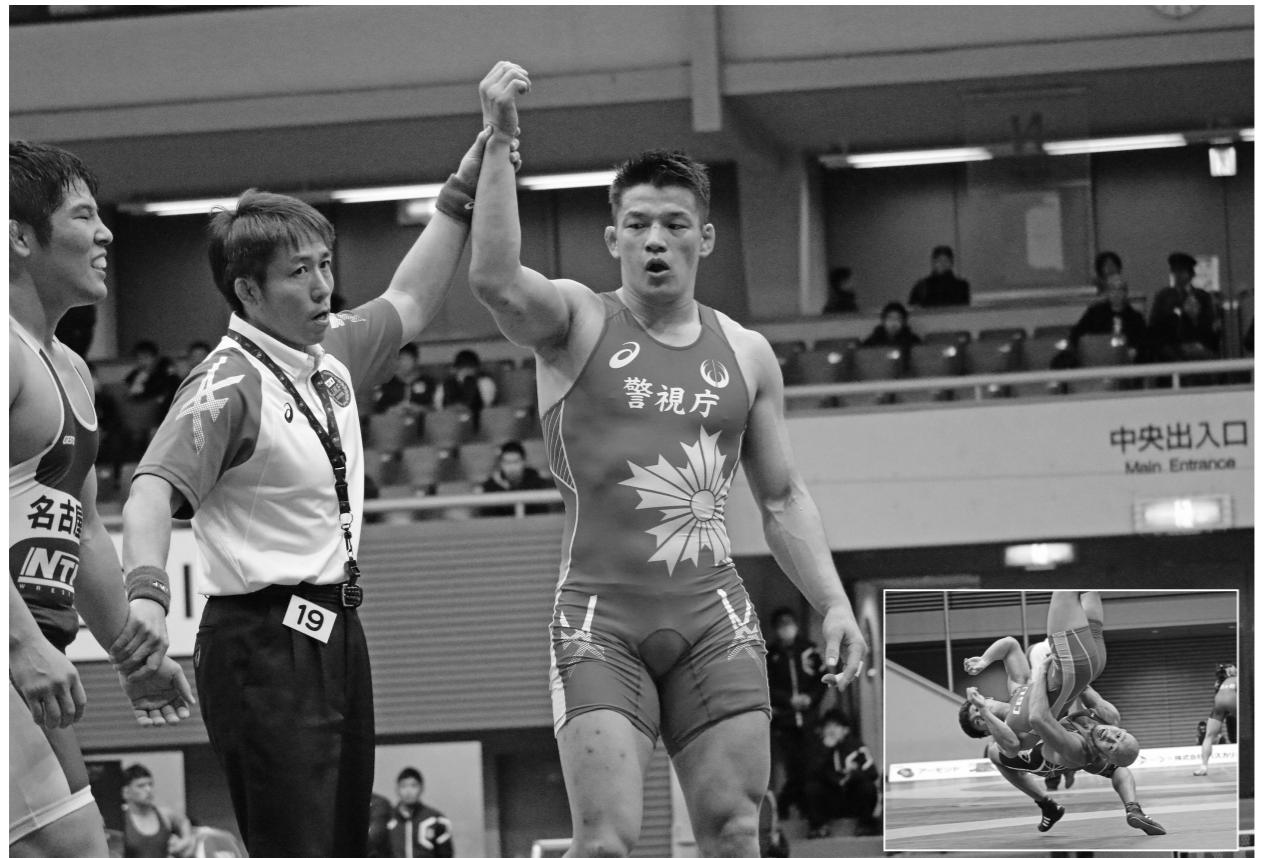


# 闘虎

No. 57  
Wrestling  
群馬県レスリング協会広報紙  
平成31年 冬季号



## 松本篤史が全日本5度目の優勝！

### 天皇杯全日本レスリング選手権大会

12月20～23日、駒沢オリンピック記念公園体育館において、「天皇杯全日本レスリング選手権大会」が行われた。2018世界選手権フリースタイル92kg級で銅メダルを獲得している松本篤史（警視庁）は、全日本選手権においては、圧倒的強さで2年ぶりの優勝。フリー、グレコ合わせて通算5度目となる優勝を飾り、優秀選手賞を獲得した。群馬県出身選手で全日本選手権5度の優勝は、高田裕司の10度に続き、長島和幸と並ぶ2位タイとなった。また、本格的に第一線に復帰した富塚拓也（育英大学）が、グレコ72kg級に出場、豪快なリフトを次々と決めて、決勝進出。決勝ではリフト不発に終わったが、第2位となる健在ぶりを見せた。

◆発行／群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会



■練習会場 館林市城沼総合体育館  
■練習日時 毎週火（午前9時～午後5時）・土曜日（午前9時～午後6時）・日曜日（午前9時～午後5時）

僕は兄の影響で、物心ついたころからレスリングを始め、今年で12年目です。クラブでも最上級生なので、仲間たちをリードする責任があります。目標は、僕が高校2年生の時に城沼体育館で開催されるインターハイで優勝することです。しかし、簡単なことではないので、より一層努力していきたいと思います。

こうしてレスリングができるのも、支えてくださる保護者や、休みなく指導してくださいる先生方のおかげなので、日ごろから感謝しています。

館林ジュニアレスリングクラブは、昭和52年に創立した、伝統と実績のあるクラブです。現在は、小学生から中学生まで23名で日々の練習に励んでいます。限られた練習時間の中で、内容の濃い練習をするために、多くの先生方やOBの方々が、忙しい中都合をつけて、技の指導やスペシャリストの相手などをしてくださいるので、それをしっかりと試合に活かしていきたいです。

僕は兄の影響で、物心ついたころからレスリングを始め、今年で12年目です。クラブでも最上級生なので、仲間たちをリードする責任があります。目標は、僕が高校2年生の時に城沼体育館で開催されるインターハイで優勝することです。しかし、簡単に優勝することではないので、より一層努力していきたいと思います。

久保田 進也さん（大泉町・66歳）

この写真は昭和30年代、館高教師だった父の修学旅行の一枚です。父の思い出を語ると枚挙に暇がありませんが、小幡洋次郎さんが東京オリンピックで優勝したとき、館林駅から父とパレードしたこと、44総体（館林インターハイ）では、皇太子（今の天皇陛下）ご夫妻の前で、審判長として、試合開始宣言をしたことなど、これこそ1冊の本にもなることでしょう。海外からの選手やコーチもよくウチに泊めていました。私は太田高校を志望していましたが、父が独断で館林高校に変更し、合格発表の日に、レスリング部合宿所に連れて行かれました。高3からのアメリカ留学も父が決めたこと。今となっては、もちろん感謝しています。

## SCHEDULE

■少年少女おおまち大会  
3月17日（日）  
みどり市総合社会体育館

■全国高校選抜大会  
3月27日（水）～29日（金）  
新潟市体育館

■JOC杯ジュニア  
クイーンズカップ  
4月2日（火）・3日（水）  
駒沢公園体育館

■JOC  
4月27日（土）・28日（日）  
横浜文化体育館

■群馬県高校総体  
5月10日（金）～12日（日）  
館林市民体育館



## クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第57回  
館林ジュニアレスリングクラブ

3年 主将 加藤 敦史

群馬県一の伝統と実績！  
先生保護者に日々感謝！

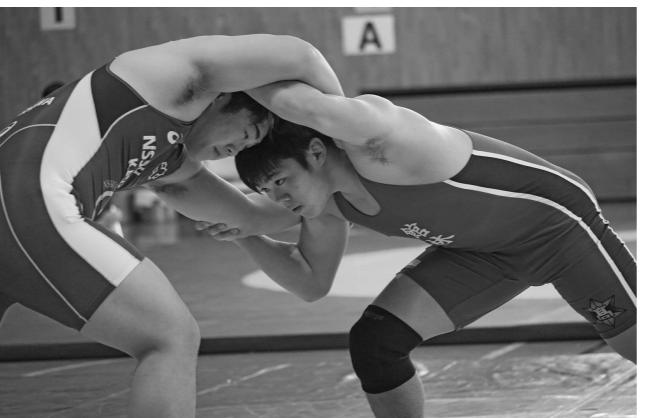
この写真は昭和30年代、館高教師だった父の修学旅行の一枚です。父の思い出を語ると枚挙に暇ありませんが、小幡洋次郎さんが東京オリンピックで優勝したとき、館林駅から父とパレードしたこと、44総体（館林インターハイ）では、皇太子（今の天皇陛下）ご夫妻の前で、審判長として、試合開始宣言をしたことなど、これこそ1冊の本にもなることでしょう。海外からの選手やコーチもよくウチに泊めていました。私は太田高校を志望していましたが、父が独断で館林高校に変更し、合格発表の日に、レスリング部合宿所に連れて行かれました。高3からのアメリカ留学も父が決めたこと。今となっては、もちろん感謝しています。

久保田 進也さん（大泉町・66歳）

# 玉岡颶斗痛恨！ラスト5秒の▽逃し！

## 関東高校選抜大会

闘虎 冬季号(平成31年2月)



団体戦では見事な攻撃で日体柏を破った玉岡だったが

2月2～3日、城沼総合体育館において「関東高校選抜大会」が行われた。福井国体（少年グレコローマン92kg級）で優勝を果たし、残る高3の大会で、フリースタイルでも全国制覇を目指す玉岡颶斗は、初日の団体戦・対日体柏戦で、チーム唯一の白星を挙げるなど、好調な仕上がり。個人戦でも優勝が期待されたが、決勝戦で、トワードル・ジブフチヨーロン（日体柏）に、リードしながらラスト5秒、2-2に追いつかれ、同点だがレポートで

惜敗。全国選抜での巻き返しが期待される。全国選抜出場者と女子入賞者は、次のとおり。

【団体戦】	⑤館林
【男子】	◇51kg級
	⑤日比野晴斗（館林）
林）	◇55kg級
	⑤高橋一輝（館林）
92kg級	◇60kg級
林）	◇55kg級
	⑤築地留偉（館林）
井知史（前西）	◇125kg級
	⑤岩
湖伊武稀（富実）	◇60kg級
林）	⑤対比地旭陽（大泉）
【女子】	◇47kg級
	③見目天音（富実）
③鏡茜（市太田）	◇62kg級
③本荘美菜（館商工）	◇68kg級
③小田梨英瑠（館商工）	◇73kg級

## 上村と松井がMVPを独占！

### 館林市スポ少交流大会

1月27日、城沼総合体育館において「館林市スポーツ少年団レスリングクラブ交流大会」が行われた。最優秀選手賞（中学生）は、上村朋也（千代田）、優秀選手賞（小学生）は、松井礼士（OSA）が獲得。群馬勢のMVP独占は、昨年の高橋一輝（千代田）、星野歩汰（大間々）



MVPを獲得した上村朋也（左）と松井礼士

【中学生男子】	◇Division C 小林久美（千代田）
【小学5～6年】	◇51kg級 松井礼士（OSA）
【小学3～4年】	◇+45kg級 和田也（明和）
【小学1～2年】	◇20kg級 川端隆三志郎（館林）
【幼稚】	◇19kg級 小林桂士（PALAISTLA）
【幼稚】	◇23kg級 萩田清乃進（伊勢崎）
【幼稚】	◇+23kg級 鳥居希子（PALAISTLA）

## 横尾瑠衣（明和）▽V! 原口真優（明和）準▽V!

### 千代田近接大会

和）	◇64kg級 武田杏（大間々）
【3～4年女子】	◇42kg級 澤井舞（PALAISTLA）
綾（OSA）	◇27kg級 鳥居希子
【幼年】	◇+44kg級 横尾瑠衣（明和）

## インハイ世代2人▽V! OSA4階級で優勝！

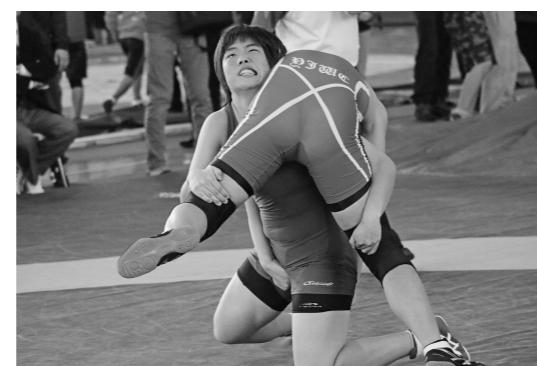
### 関東甲信越大会

12月2日、千代田町総合体育館において「第23回千代田町近接少年少女レスリング大会」が行われた。関東中の強豪クラブが集まることでレベルの高い同大会において、小学低学年時代から将来のクイーンとして期待された「明和のクラッシュ・ギャルズ」横尾瑠衣が、堂々優勝。片割れの原口真優も決勝進出。惜しくも銀だったが、2選手が存在感を示した。

県内選手優勝者は、次のとおり。

【中学男子】 ◇ 85kg級 城所拓馬（OSA）

【中学女子】 ◇ 44kg級 横尾瑠衣（明和）



最後の関甲信で有終の美を飾った小林久美

県内選手優勝者は、次のとおり。

【中学生男子】 ◇ 85kg級 城所拓馬（OSA）

【中学生女子】 ◇ 62kg級 小林久美（千代田）

## 松井礼士が悔恨の銀! 鳥居と西原が第3位！

### 全国少年少女選抜大会

2月24日、板橋区・小豆沢体育館において「第23回全国少年少女選抜レスリング選手権大会」が行われた。

この大会は、昨年7月の全少において、ベスト8以上の選手により競い合った大会で、群馬からは8選手が出場。全少で優勝している松井礼士は、決勝でレッスルウインの選手に敗れ、悔しい銀メダル。ほか2選手が銅メダルを獲得した。

【小学5年】 ◇ 48kg級 ②松井礼士（OSA）

【小学6年】 ◇ 54kg級 ③鳥居輪太朗（PALAISTLA） ◇ +54kg級 ③西原丈陽（明和）

## 元世界銀の清水▽V4!

### 山本も健在アピール!

#### 全日本マスターーズ

1月14日、国立青少年オリンピック



## 富塚拓也選手 (育英大学)

天皇杯は、前年も出場していますが、そのときは初戦敗退だったので、今年は絶対に負けられないという気持ちで臨みました。大会前は、一番いい練習ができる場所でやりたいと思い、育英大・柳川美磨監督と日体大・松本慎吾監督にお願いして、日体大という最高の練習環境の場をいただきました。今回は第2位でしたが、6月の全日本選抜では、優勝を目指して頑張ります。

闘虎 冬季号(平成31年2月)

12月2日、千代田町総合体育館において「第23回千代田町近接少年少女レスリング大会」が行われた。関東中の強豪クラブが集まることでレベルの高い同大会において、小学低学年時代から将来のクイーンとして期待された「明和のクラッシュ・ギャルズ」横尾瑠衣が、堂々優勝。片割れの原口真優も決勝進出。惜しくも銀だったが、2選手が存在感を示した。

県内選手優勝者は、次のとおり。

【中学男子】 ◇ 85kg級 城所拓馬（OSA）

【中学女子】 ◇ 44kg級 横尾瑠衣（明和）

クセントーにおいて「全日本マスターーズレスリング選手権大会」が行われた。同大会3連覇中の清水真理子がV4達成、同じ富岡勢の黛義幸は2連覇、また、往年の名レスラー・山本知史（西邑楽・山梨学院大）が優勝し、健在振りを示した。

【35～40歳】 ◇ 88kg級 山本知史（群馬県警）

【51～55歳】 ◇ 58kg級 黛義幸（富岡市レスリング協会）

【女子30～45歳】 ◇ 58kg級 清水真理子（富実高教）

幼稚園児の時、兄が小学校でもらったレスリングのプリントを見て、楽しそうだと思い、行ってみた。春から高校生になるので、強い相手ばかりになると、先生や親にほめられて、もらつたとき、とてもうれしく思います。尊敬するレスラーは、千代田ジュニアの先輩の松本隆太郎さん。ライバルは、自分に甘い自分で、春から高校生になるので、強い相手ばかりになると、思いいますが、自分のレスリングをして、インターネットでいい結果を残したいと思います。レスリングをやってよかつたことは、友達がたくさん増えたことです。将来は、人の役に立ちたいと思います。



千代田ジュニアレスリングクラブ  
小林久美さん（中3）

なでしこJUNIORのレスライセン